





平成20年3月22日、豊明市栄町に「ひかりの輪名古屋支部豊明施設」が開設されて7年が経過しました。初めて開設を知った時、普段は静かな「いなか町」が、バケツの水をひっくり返すほどの驚きと騒ぎになり、市民は「この先どうなるのだろう」と不安でいっぱいでした。誰もが、オウム真理教の起こした一連の凶悪事件を想像し、いつか我が町でも起こるかもしれないと、思いを募らせました。幸い、ここに至って事件は起きておらず、一見「平穏」に思われていますが、近隣住民の不安は消えることはありません。桜ヶ丘区では、平成24年4月から「桜ヶ丘防犯パトロール隊」を中心に監視活動を行っていますが、地元の意見を尊重して「あまり刺激せず、静かに監視すること」を基本に行っています。今年からは、区も力を入れて監視活動に参加しています。又、監視活動した結果を回覧板等で区民に知らせて、不安解消に役立っています。道場（教室、説法）開講時に来所する信者の人数は、一昨年をピークに、やや減少傾向にあります。それでも毎回10人前後は訪れていて、女性信者が増えているように思われます。気になる現象として①道場に住みつく信者が増えている事（現在3名）。②近辺に空き家が増えていること・・・です。桜ヶ丘区では、区民の「安全で安心して暮らせる町づくり」を目指して、防災、防犯、防火、交通安全等に取り組んでいます。「ひかりの輪」の団体壊滅を最終目標に、諸団体と歩調を合わせて活動を進めて参ります。



ひかりの輪施設



桜ヶ丘防犯パトロール隊

### 下町まつりで募金活動

6月6日、第6回下町まつりが世田谷文学館周辺一帯で開かれました。ケン玉や菓細工、芦花小中学生のエイサーやアコースティック演奏、綿あめやポップコーン、焼きそば店もあって、近隣の家族が地元野菜や草花の買物を楽しみました。文学館内では小学生の交通安全ポスターの展覧会、渡辺鳥山総合支所長による「鳥山のこれまでと今後」の講演会は大正時代から今日までの近郊農村から郊外住宅地への変遷や京王線の開通と都市計画・今後の動きなど、貴重な古地図を提示した講演内容でした。長い歴史の中で着実に発展したこ

の鳥山地域。嬉々として楽しむ子どもたちの姿を見て、一日も早いオウム真理教の解散・解体で地域の安穏が急がれる思いを強くしました。募金活動への皆さまのご協力に感謝すると共に、場所を快く提供して頂いた実行委員会の皆さま有難うございました。



### 住民協議会活動報告

6月23日（火） 実行委員会  
6月29日（月） 協議会ニュース147号初校正  
7月3日（金） 事務局会議

7月6日（月） 協議会ニュース147号再校正  
7月14日（火） 協議会ニュース147号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。